

第三十八回ギャラクシー賞奨励賞受賞

流れる雲よ

時を超え 翼になりて 日本^{きみ}を守らん

香川公演

脚本 草部文子
総合演出 田中寅雄

令和8年（皇紀2686年）

10月31日 土

第一公演 開演 11時～（開場 10時）

第二公演 開演 15時～（開場 14時）

三豊鶴（香川県三豊市詫間町詫間字須田5437）

お問い合わせ先：090-8226-0299（小出）

主催：流れる雲よ香川実行委員会／製作著作：演劇集団アトリエッジ

VIP席：前売 10,000円（当日 12,000円）

一般：前売 5,000円（当日 6,000円）

学生：前売 3,000円（当日 4,000円）

チケット申込みはコチラ



特攻隊ミュージカル 第38回キャラクター賞奨励賞受賞作品

流れる雲よ

香川公演

脚本 本・草部文子
総合演出 田中寅雄

写真:2025年香川公演より

大東亜戦争末期。
鹿児島の特攻隊航空基地で、
整備兵の中原正人と
特攻隊員の坂本光太郎は
不思議な電波がラジオから
響いてくるのを耳にする。

2人はその奇妙な放送が
西暦2024年から聞こえてくる
未来のラジオ番組である事に気付くのだった。

そして1945年8月15日に
終戦となる事実を知り、2人は愕然としつつも、
その事を上官達に報告し、
無駄な特攻攻撃をやめさせようとするが。
敗戦を知りながら何故自分たちは特攻するのか、
悩み始める光太郎。
そして光太郎の特攻前夜、
ラジオの神様から奇跡の放送が届くのだった。



香川公演
実行委員長
小出 圭美

ごあいさつ

戦後80年の節目に『流れる雲よ』を香川県で初めて上演させて頂きました。香川公演会場は約150年もの歴史を持つ旧酒蔵。会場へ一歩足を踏み入れるとそこは1945年8月。観劇されたすべてのお客様が終戦直前のその時にタイムスリップしていたのでしょうか。いつまでも鳴り止まぬ大きな拍手が巻き起こり、スタンディングオベーション！感動の渦に包まれ幕を閉じたのです。

詫間町は元海軍航空隊跡地であり、今も滑走路・防空壕が残っております。

また当時の基地の門前には、知覧富屋食堂と同じ役目を果たした『清水食堂』があり、食堂の女性は“特攻の母、”と呼ばれた鳥濱トメさん同様、詫間の特攻の母でした。

このような当時の歴史を振り返ることが出来る詫間町での舞台。戦跡を辿りながら、時空を超えた空間で『流れる雲よ』をご覧ください。

私達のことを守ってくださった先人達の想いを、声を、感じてください。そして過去から受け取った糧を未来へ紡いでまいりましょう。

会場周辺マップ



観劇にあたって

- ◆VIP席は、最前列の10席(指定席)となっております。
- ◆一般及び学生(小学生以上)は、自由席です。
- ◆演出の関係上、大音量の音楽や効果音が流れます。
大きな音が苦手なお子様はご入場をご遠慮頂いております。
あらかじめご了承くださいませ。
- ◆お車で越しの際は、駐車場の数が限られております。
できるだけ乗り合わせてお越し頂けますと助かります。
- ◆最寄駅は、JR詫間駅です。

